

## 「青少年からのメッセージ」の募集結果について（報告）

### 1 事業の目的

毎年、異なるテーマを設けて、青少年（18歳以下）から作文及び漫画・イラスト形式のメッセージを募集し、入選作品を掲載する作品集を作成・配付することにより、自己表現や自己実現の機会を提供して青少年自身の人格形成に資するとともに、地域社会における青少年の健全育成に対する関心を高める。

### 2 事業の概要

- (1) テーマ 本年度は、日常生活において、何かに支えられて生きていることに気づき、その支えられている人やものに改めて感謝する機会にするとともに、社会を構成する一員としての自覚を持ち、自分の能力を精一杯発揮しながら、社会を生き抜く力を身につけてもらうため、「私を支えてくれる人やもの」とした。
- (2) 規格 [作文部門] 小学生200字程度（5・6年生は300字可）、中高・一般は400字程度の文章とする。  
[漫画・イラスト部門] 1～4コマの漫画・イラスト
- (3) 応募資格 市内に在住又は通勤・通学する、小学生から概ね18歳までの者
- (4) 募集期間 平成30年6月1日（金）～平成30年7月6日（金）《必着》
- (5) 応募結果 作文部門14, 346点、漫画・イラスト部門162点、合計14, 508点の過去最高の応募があった。

参考：各年度のテーマ及び募集結果

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
テーマ	いじめ	私にがんばる力をくれたことば	平和な未来のために、私にできること	未来の自分のために今がんばること	電子メディアと上手につきあうには	私を支えてくれる人やもの	
作文	小	1,378	2,714	3,765	4,824	4,346	5,023
	中	3,574	6,594	7,650	8,480	8,691	9,024
	高・一般	293	425	111	134	364	299
	計	5,245	9,733	11,526	13,438	13,401	14,346
漫画	小	81	108	211	152	658	149
	中	37	26	56	9	2	9
	高・一般	0	4	2	9	6	4
	計	118	138	269	170	666	162
計	小	1,459	2,822	3,976	4,976	5,004	5,172
	中	3,611	6,620	7,706	8,489	8,693	9,033
	高・一般	293	429	113	143	370	303
	計	5,363	9,871	11,795	13,608	14,067	14,508

(6) 選考

- ・ 10月2日(火)に審査委員会〔学識経験者、関係団体等(作文部門10名、漫画・イラスト部門9名:別添名簿のとおり)]を開催した。
- ・ 作文部門は、「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生・一般の部」別に、漫画・イラスト部門は一括して、入選作品[作品集掲載作品]を選考した。

○ 入選作品[作品集掲載作品]数:合計65作品

- ・ 作文部門 小学生の部:24点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選20点)  
中学生の部:22点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選18点)  
高校生・一般の部:13点

(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選9点)

- ・ 漫画・イラスト部門:6点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選2点)

※ 審査委員の方々から、「身近に存在する、自分を支えてくれているものをきちんと見ていると感じた。また、人から支えてもらっていることを良く考えていることがうかがえた。さらに、自分の過去や未来を深く掘り下げている作品がみられた」などの意見をいただいた。

(7) 表彰

金・銀・銅賞の入選者は、11月17日(土)に青少年センターで開催する「第32回広島市青少年健全育成市民大会」において、市長が表彰するとともに、金賞受賞者(4名)に作品を発表してもらい、審査委員長から、審査を振り返っての講評をいただく。

その他の入選者へは、学校を通じて賞状を授与する。

(8) 作品の活用

入選作品(65作品)を掲載した作品集を作成し、広島市青少年健全育成市民大会で参加者全員に配付するとともに、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を始め、関係部署、青少年健全育成連絡協議会、公民館及び図書館等に配布する。また、作品集掲載作品の本市ホームページへの掲載や、各学校へのデータ配信などにより、青少年健全育成のために広く活用する。

平成30年度「青少年からのメッセージ」審査委員会委員

区 分	委員名	所属・役職	審査部門	
			作文	漫画
学識経験者 及び 市民代表	橋本 英樹	広島市青少年健全育成連絡協議会理事	○	○
	鈴木 由美子	広島大学大学院教育学研究科教授	○	○
	田原 直樹	中国新聞社論説委員室委員	○ (委員長)	○ (委員長)
	板倉 妙子	広島市地域活動連絡協議会会長	○	○
	和田 勝恵	日本児童文学者協会会員	○	
	大下 恵子	大州中学校長(平成30年度広島市中学校 教育研究会国語部会長)	○	
	三田 真由美	戸坂城山小学校長(平成30年度広島市 小学校教育研究会国語部会長)	○	
	大井 健地	広島市立大学国際学部名誉教授		当日 欠席
	橋本 忍	祇園東中学校長(平成30年度広島市中学 校教育研究会美術部会長)		○
	和田 典子	山田小学校長(平成30年度広島市小学 校教育研究会図画工作部会長)		○
行政関係者	広田 稔之	教育委員会青少年育成部育成課長	○	○
	岩室 浩	教育委員会青少年育成部育成課 非行防止・自立支援担当課長	○	○
	松尾 雄三	教育委員会青少年育成部放課後対策課長	○	○
	13名		10名	9名

(敬称略)

テーマ／「私を支えてくれる人やもの」

【作 文 部 門】

《小学生の部》

金賞 『安心できる時間』

井口台小学校5年 清山 ねね

私には、「安心できる時間」という大好きな時間があります。その、「安心できる時間」というのは、家族と会話する時間のことです。

私の家では、お父さんの仕事が休みの日、キャンプの夜や、長旅の車など、時間が空いた時に、家族で集まって会話をしています。私は、このゆったりのんびりした時間が大好きです。その大好きな理由とは、この家族との会話のなかで、なやみをうちあげると、

「お母さんも昔そんなことがあって…」とか、

「それは、相手にこんな風に伝えて…」など、アドバイスしてくれたり、昔のことをもとにいっしょに考えたりしてくれるので、明日は、気持ちを伝えてみようなど、家族との会話をする事で、前をむいて、また歩き出せる気がするんです。

だから私にとって家族は、かけがえのない大切なそんな存在です。

なので、しょう来子どもができれば、同じように会話して、子どもが「大切な家族」と言えるような家族になりたいです。

銀賞 『父親』

仁保小学校5年 國保 莉菜

私の家族は四大家族です。私の父親は電気関係の仕事をしています。毎朝五時に起きて五時半に家を出て仕事に行っています。土曜日も、朝早く仕事に行く時もあります。夜も遅いです。

私の父親は、仕事のぐちを言ったり、しんどいとか、たいぎいとか言った事はありません。体調が悪くて休む事もあります。そのかわりビールをおいしそうに飲んでいきます。

家族を大切にしてくれる父親は、いつもやさしくて勉強もできてすばらしい父親です。

私の心の支えは、父親です。父親の口ぐせは、

「平常心」

と、いつも言い聞かせてくれます。大勢の人の前で発表をしたり、試験の日でも常にこの言葉を言ってくれます。私はきんちょうすると、心ぞうの音が聞こえるくらいドキドキして発表できません。父親のように強くしっかりした人になれるよう、努力していきたいです。

銅賞 『大好きなお母さん』

大塚小学校4年 長島 菜津穂

わたしの、お母さんは仕事はしていないけれど、一生けん命わたしを育ててくれたり、家事をしたり、とてもおいしいごはんを作ってくれたりしています。わたしは、そんなお母さんが大好きです。わたしが、特に心に残っていることは、わたしがこまっている時、心配事があって夜ねむれない時、泣いている時、そんな時にお母さんはいつもわたしをなぐさめてくれました。そして、何よりもわたしが安心する言葉は、「大じょうぶだよ。お母さんはいつでも味方だからね。」という言葉です。今年のおたん生日のお手紙にも、その言葉を書いてくれて、泣きそうになりました。それと、お母さんのお料理は世界一おいしいごはんだと思っています。わたしはいつも、ごはんを食べ終わると、「おいしかったよ。お母さん。」と言っています。すると、お母さんは、え顔で、「ありがとう。」と言ってくれます。その時の顔と声からわたしは、そう言ってくれてうれしいよと思っているのかなと思いました。わたしはいつも、お母さんに感しゃの気持ちでいっぱいです。

銅賞 『いつも私をいやしてくれる猫』

三田小学校4年 大後戸 寧々

いつも私をいやしてくれる猫がいます。名前はリン、チャコル、くるみです。

私は、その日いやなことがあると、すぐねころびます。そうすると、チャコルが私の胸にのって、私の小指をなぜか甘がみしてきます。それが、すごくいやされて、いやな思いがふきとびます。

あと、私がベットで泣いていたら、リンが枕にのって私の頭にすりすりしてくれます。それが2分ぐらいいつもしてくれます。そうしたら自然に涙が止まってしまう。リンはなにかすごい力を持っていると思います。

そして、私がはぶてっていると、くるみが、「ミーミー」とないて、「大丈夫」みたいにいつも心配してくれます。すごくかわいい鳴き声ですごくいやしてくれます。

私は、お母さんに、「寧々は猫つかいだね。すごいね。」といつも言われます。でも、私は、リン、チャコル、くるみのことを、「人間つかい」だと思っています。

私は、リン、チャコル、くるみが大好きです。

《中学生の部》

金賞 『交換日記』

戸坂中学校3年 矢部 董

私を支えてくれるものは何年か前のお父さんと私の交換日記です。私のお父さんは何年か前に病気で亡くなってしまいました。お父さんが病気で入院している時は、私が学校だったのでなかなか会いに行くことができませんでした。でもそんな時に交換日記をはじめて毎日の出来事を伝え合いました。休みの日しか会うことができなかつたのでいつも楽しみにしていたことをおぼえています。嫌なことがあったと書けば面白い絵といっしょになぐさめてくれてテストが嫌だと書けば頑張れと応援してくれました。お父さんは最後まで丁寧に書いてくれました。お父さんは病気と闘っていたから頑張ることは大切という言葉に説得力がありました。今はないけれどその交換日記を見ると心があたたまると、頑張ろうという気持ちがわいてきます。今、私が毎日、きれいな勉強しようと思えるのもあきらめそうになった時にまだ頑張ろうと思えるのもこのお父さんとの交換日記があったからだと思います。この交換日記が私を支えてくれるものです。

銀賞 『私を支えてくれる言葉』

白木中学校3年 酒井 涼圭

「PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気を持った者だけだ。」

これは、元サッカー選手のロベルト・バジジョの言葉です。私はこの言葉に、小学校を卒業する少し前に出会いました。中学校生活を頑張りたいという思いが強かった私にとってこの言葉は、失敗を恐れずにたくさんすることに挑戦しよう、と思わせてくれる言葉でした。

中学生になり成功と失敗を繰り返し積み重ねていくなかで、中学生になる前の私の決意は次第に弱くなるばかりでした。しかし、二年生の秋、生徒会に立候補するかしないか迷っていた私に、この言葉が頭の中に蘇りました。挑戦しなければ失敗も成功もしない。すんなりと私の頭が、そう解釈しました。それと同時に、選挙へ出る方法を確認しに行きました。

今の私は、常にこの言葉に支えられて生きています。迷った時には、失敗した時の事を考えず、挑戦するのみです。この言葉に出会ったから、今の私がいると思っています。

銅賞 『ただいまの一言で』

亀山中学校3年 山本 夏鈴

「ただいま。」その一言で私の母は私を理解して、安心できる場所を作ってくれます。楽しかった日は「今日楽しかっただね。」と言い、辛かった日は「今日何かあったでしょ。どしたん。」と心配してくれます。私は「ただいま。」と言っただけなのに少しの声の変化や表情で気持ちを分かってくれる母はとてもすごい人だと思います。

また、私が相談をすると私以上に悩み、一緒にどうしたらいいかを考えてくれます。部活で副部長という立場に責任の重さを感じて落ちこんでいた時、母はずっと私の話を聞いてくれて、「もっと気楽でいいんだよ。」と励ましてくれました。自分のことではないのに自分のことのように悩み、考えてくれる母だからこそ私は素直になることができたのだと思います。

「おかえり。」その一言を聞くだけで私は安心し、元気になることができます。そして母の一言一言に私は支えられ、「頑張ろう。」という気持ちにさせてくれるのだと思います。

銅賞 『私を支えてくれる人』

安佐南中学校3年 正円 未菜

私には、人と違ったことがあります。それはコルセットをつけていることです。

コルセットをつけていると、落ちている物をスッと取ることができません。走ることや階段をかけ上がることも難しいです。でもそんな時、私の周りにはたくさんの優しい友達があります。物が落ちた時には、「大丈夫？」と声をかけて取ってくれるし、靴を棚に収める時も私から頼まなくても収めてくれます。

また、学校の先生方も優しいです。廊下ですれ違った時にはあいさつをした後に「調子はどう？」と声をかけてくださります。そしていつでも、「しんどい時には言ってね。」と配慮してくださります。保体の時や体調が悪い時にはコルセットをはずすので保健室の先生にもお世話になっています。

コルセットをつけるのは正直、とてもしんどいです。でもいつも頑張れるのはたくさんの方の支えがあるからだ本当に思います。

いつもお世話になっている分、小さなことでも恩返しをしていき、日頃から感謝の気持ちを伝えることを大切にしようと思います。

〈高校生・一般の部〉

金賞 『わたしの夢』

広島皆実高等学校3年 岡本 菜幹

「看護師になりたい。」

そう強く願って、この広島皆実高校の衛生看護科に入学しました。すごく大変と聞いてはいましたが、高校生のうちから病院での実習、看護の勉強は辛いです。

先日、病院へ行った時、患者さんの身体を洗いました。寝たきりで話すことのできない患者さん。目を見て気持ちを察することもできず、患者さんのパジャマ、シーツを濡らしてしまい、大きな負担を掛けてしまいました。私は、ひどく落ち込み、失敗ばかりだと自分を責めました。そのとき、患者さんの口がかすかに動きました。

「ありがとう。」

私は涙が出そうになりました。こんなに迷惑を掛けてしまったのに、寒いだろうに、お礼を言ってくれている。私のやりたいことはこれだ。

落ち込んでいた心が一気に晴れました。私を救ってくれた一人の患者さん、私の夢を思い出させてくれました。わたしの夢は、私を支えてくれるかけがえのないものです。

## 銀賞 『私に力をくれる人』

広島皆実高等学校3年 丸川 奈都美

私は広島皆実高校の衛生看護科に通っています。日々、看護師になることを目標に実習や課題に取り組んでいます。多忙な毎日の中で、私に頑張る力をくれるのは祖母です。私に看護師になるという夢を与えてくれたのも祖母です。

私の祖母は目が見えません。幼い頃はそれが当たり前だと思っていましたが、実際は違いました。そこで、祖母のように困っている人の助けになりたいと思い、看護師を志すようになりました。今ではその夢は家族全員の夢でもあります。特に祖母はいつも

「なっちゃんならできる。頑張りんさいよ。」

と力強い言葉をくれます。祖母の存在と、心強い応援で勉強に行き詰まったり、実習で自分の力不足を実感したりした時でも、諦めずにいられます。祖母や家族への感謝を忘れずにこれからも夢に向かっていきたいです。

しかし実は、祖母のおかげで看護師になりたいと思えたことを本人にまだ伝えられていません。三年後、私が立派な看護師になれたら感謝と共に伝えたいと思います。

## 銅賞 『眼を閉じると』

広島皆実高等学校3年 石橋 亜純

逃げ出したい時、泣きたい時、辛い時、私は眼を閉じる。温かい大きな手、低くて心地良い声。もう会えない。頭の中で必死に記憶を蘇らせ温もりを思い出す。

私の心の支えは亡き父だ。父は私が小学校低学年の時肺癌で亡くなった。お父さんっ子でとても大好きだった父。伝えたい事も恩返しも何も出来ていない。まだまだ子供だった自分。無力さが今でも悔やまれる。母はその後事故で車椅子生活。頼れる大人なんていない。安心する場所も。

高校生になり看護師になる道を選び看護科に入った。父のような人を一人でも助けたいと思ったからだ。だが現実には辛いものだった。頭の奥に出てくる父の最期の瞬間。死と隣り合わせの場所。だがそんな時、眼を閉じると父が笑って見てくれる。情けない姿は私には似合わない、がんばれと応援してくれている。思い出してはまた一日また一日と過ごす。思い出の中の父とまた会える日を楽しみに、立派な看護師になり多くの人達を助けられるように。

## 銅賞 『私を支えてくれるもの』

美鈴が丘高等学校2年 角野 美月

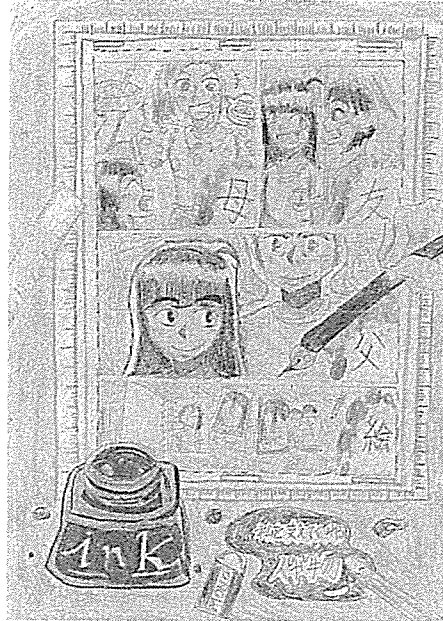
私を支えてくれるものは、韓国で教師になるという将来の夢です。私は幼い時から将来は人の役に立てるような仕事をしたいと考えていました。韓国で教師になりたいと思い始めたのは、つい半年前ですが少しでも韓国の文化についてなどを知りたくて教材を購入し韓国語を勉強したり、スマートフォンで語学学習アプリを使い韓国人との会話や電話を重ねていきました。最初は親に将来の夢を反対されるのではないかと思います、なかなか言い出すことができませんでした。ですが、語学学習アプリで知り合った女の子は将来日本で貿易に関わる仕事がしたくて日本留学に向けての勉強に励んでいる事を聞き、彼女の行動力に刺激を受けたと共に彼女と将来の夢を実現させるために努力することを約束しました。国境を越えて分かり合えることの素晴らしさを知り、もっと韓国の事が大好きになりました。普段の勉強や部活と韓国についての勉強を両立する事はすごく大変ですが、韓国で教師に必ずなりたいという気持ちが、夢に一步步近づくための私の原動力となっています。

【漫画・イラスト部門】

金賞 『漫画家を目指す私と、私の宝物』

高須小学校6年 甲斐出 優羽

私の大好きな宝物は、友、母、父、絵です。友達でも、その友達は気やすく話せるし、母父は私を最も支えてくれる家族で、絵は小さい頃からかいている。このような人、物は私を支えてくれるゆい  
いつの存在、そして、宝物なのです。



銀賞 『好きな事ができるということ』

翠町中学校3年 郷原 綾乃

私を支えてくれるものを最初考えた時絵を描くことだと思いました。ですがその絵を描けるのは誰のおかげだろうと考えると母ということに気づきました。いつも私を支えてくれる絵やその絵を描かせてくれる母に感謝をしようと思いました。





銅賞 『未来の確率』

国泰寺中学校3年 井上 乃奈

この作品は、「今の自分になるための成分」と、「将来なるかもしれない自分」を表せるよう描きました。



銅賞 『カープおじさんありがとう』

中野小学校3年 谷村 紅葉

毎朝カープおじさんの所を通りすぎるのが楽しみです。いつも見守ってくれてありがとう。

